



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第4号 [7月号]

令和元年7月24日発行



シリーズ「新しい時代の幕開け」

「日本一のトキの学校」 世界へ発信

校長 笠井 猛雄

7月11日(木)、「朱鷺国際フォーラム2019」が韓国ソウルで行われました。

トキ保護活動に携わる日本、韓国、中国、各国の代表が集まる国際会議です。

佐渡市からは、三浦市長をはじめ、農業政策課長、トキ保護係主任、そして行谷小学校児童5名が参加しました。

代表児童5名は、3日間の日程でフォーラムに参加し、行谷小学校のトキ保護の取組を発表することはもとより、韓国と中国の小学生と交流を深めました。

代表児童は、休み時間を利用して交流活動やプレゼンテーションの発表の準備を行い、「日本一のトキの学校」を世界へアピールしました。



国際フォーラムで行谷小の取組を発表する代表児童

左から 5年本間海翔, 6年石川 優心, 6年藍原友里奈

5年山口七聖, 6年須田 拓空

2019/07/11韓国ソウル(フォーシーズンズホテル)

アンニョンハセヨ。

学校のまわりは自然が豊かで、トキが飛んでいる姿を毎日見ることができます。

行谷小学校は、「日本一のトキの学校」です。

学校でトキを飼育したことがあるのは、日本で唯一、行谷小学校だけです。

行谷小学校は、トキについて学ぶ機会が日本で一番充実している学校です。

全校児童がトキの学習をしているのは、日本で唯一、行谷小学校だけです。

※当日の発表から(要約)

1学期は、4月の「トキの話を聞く会」をスタートに、「トキ集会」「水辺の生き物調べ」「優優誕生20周年」など、環境省佐渡自然保護官事務所、佐渡トキ保護センターの皆様をはじめ、トキ保護活動に携わる多くの地域の皆様のご支援を得て「トキ学習」を進めてきました。

「トキ」を通じた他校との交流活動も充実していました。中国青島の小学生との交流会もありました。夏休みには、トキの森公園で「トキ解説」を予定しています。

まさに、「日本一のトキの学校」にふさわしい取組と子どもたちの活躍ぶりでした。

さて、フォーラムでは、「トキ学習」の様子ほかに、行谷小学校「トキの歌」も紹介しました。(代表児童が熱唱♪)

団長の拓空さんが、次のように決意を述べ、行谷小学校の発表をまとめました。

私たちは、これからも「日本一のトキの学校」としての自覚と誇りをもって、トキについて学んでいきたいと思えます。

人間とトキが共生できる環境を守ったり、よりよい環境を創り出したりする活動に取り組み、その取組を、世界中に発信していきたいと思えます。

カムサハムニダ



7月23日(火)に「報告会」を行いました。

代表児童がフォーラムや他国の子どもたちとの交流で学んだことを、全校児童の前で発表しました。

代表児童の活動の様子は、今後、学校のホームページやリーフレット等で紹介する予定です。

(フォーラムの様子は韓中日三国協力事務局(TCS)のホームページで配信中)

◀韓国、中国の仲間と一緒に記念撮影＝11日、韓国ソウル

★いよいよ夏休みです。一人一人の夢が大きく広がる有意義な夏休みになることを願っています。お子さんの安全・健康管理には、くれぐれもご留意ください。1学期のご支援とご協力ありがとうございました。